

図-3 冷田橋における水質の変動について

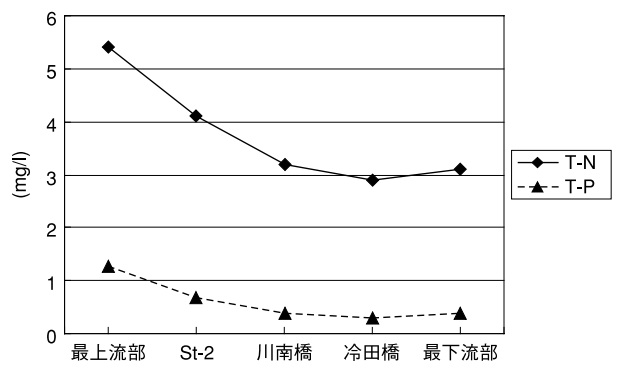
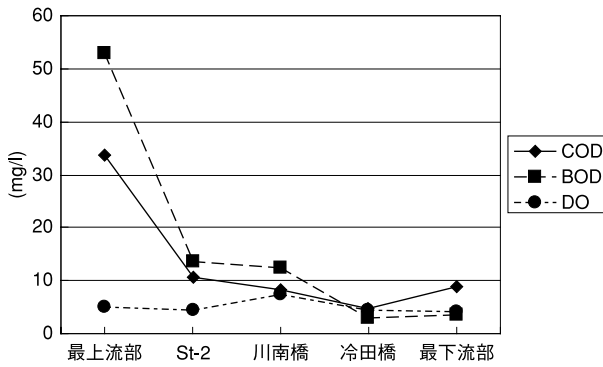


図-4 地点別の平均値について

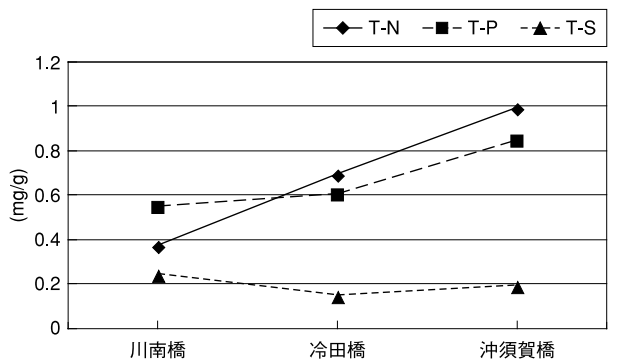
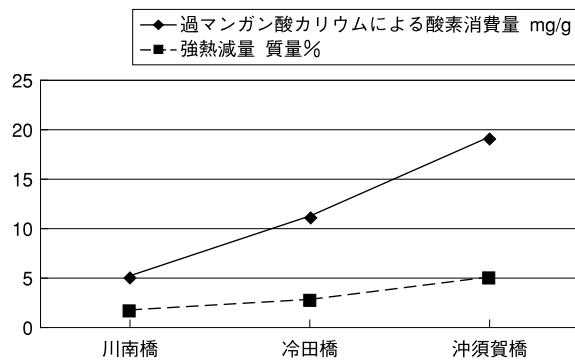


図-5 冷田川の底質について

IV まとめ

1 水質調査結果

冷田川の水質調査結果は次のとおりであった。

- ・BOD, COD, T-N, T-Pが高く、有機物による汚濁が進行している。特に上流ほど高く、河川の流量が減少する冬期は水質が悪化している。
- ・他の河川に比べてDOは低い傾向が見られる。
- ・アオコを形成する有毒プランクトン種は見られなかった。
- ・健康項目のVOC(11項目)、農薬(シマジン、チウラム、チオベンカルブ)は検出されなかった。
- ・底質は下流ほど汚濁が高く、有機物、栄養塩類の蓄積が見られる。
- ・夏期は園瀬川から用水を取水しているが、冬期は流量が減少する。また、中流より下流は樋門の影響で水が停滞している。
- ・平成18年度に徳島県において行われた「平成18年度生活排水等汚濁負荷量実態調査」によると、冷田川のBOD汚濁負荷量は、一日あたり、235kgと算定されている。冷田川流域は、事業場等排水が5%程度である。また、下水道未整備地域であり、さらに、合併浄化槽の設置状況は約10%と低いため、冷田川的生活雑排水によるBOD汚濁負荷は、全体のBOD汚濁負荷量の約6割を占めると考えられる。

2 水質改善策

これらの調査結果から考えられる水質の改善策として、次のことが考えられる。

- ・河口の堰を解放し、水の流れを作ること。
- ・最上流部から浄化用水を導水すること。
- ・家庭排水の負荷量削減が重要であり、今後、さらに合併浄化槽の設置の促進や住民の生活排水負荷量の削減が必要である。

等の対策が考えられる。

これらの対策が、今後の冷田川の水質改善策の一助になれば、幸いです。

文 献

- 1 有澤隆文他：鳴門市を流れる新池川の水質改善に関する考察，徳島県保健環境センター年報，No.22（2004）
- 2 犬伏宏行他：鳴門市を流れる新池川の水質改善に関する考察2，徳島県保健環境センター年報，No.24（2006）
- 3 平成18年度生活排水等汚濁負荷量実態調査業務報告書，徳島県・東邦化工建設(株)徳島事業所（平成19年3月）
- 4 徳島県ホームページ，徳島県県民環境部環境局環境管理課